

JCC キャットショーの審査形式

ベビー（生後2ヶ月以上～4ヶ月未満）・キッズ（生後4ヶ月以上～8ヶ月未満）
プレミアシップ（去勢・避妊された公認猫）

ブリード審査

担当審査員が該当クラスの出陳猫を全頭審査し、各猫種毎に席次・ベストカラー・ベストブリードが選出されます。さらに各猫種のベストブリードから10頭の猫が選出され、ファイナル審査に進みます。

席次選出

各猫種、カラークラス、性別毎に上位3頭までが入賞になります

席次
1st

2nd

3rd

ベストカラー選出

各猫種のカラークラス毎に上位2頭が入賞になります

ベストカラー
1st

2nd

ベストブリード選出

各猫種から上位2頭が入賞になります

ベストブリード
1st

2nd

カラークラス

各猫種はカラーの種類（模様のあるなし、ホワイトのあるなしなど）でいくつかのグループに分類されます。このグループをカラークラスといいます。

席次

出陳猫は同じ猫種・カラークラス・性別の猫と競い、順位によって席次に選出されます。

ファイナル審査

担当審査員が選出した10頭の猫からファイナル順位を決定します

ファイナル
1st

2nd

3rd

4th

5th

6th

8th

9th

10th

ハウスホールドペット

ブリード審査

担当審査員が該当クラスの出陳猫を全頭審査し、出陳猫から10頭の猫が選出され、ファイナル審査に進みます。

ハウスホールドペット

血統書のない飼い猫・非公認猫種の猫・レジストレーションオンリークラスの猫・毛色に(AoV)の記載がある猫が該当します。

ファイナル審査

担当審査員が選出した10頭の猫からファイナル順位を決定します

チャンピオンシップ(生後8ヶ月以上)

ブリード審査

担当審査員が該当クラスの出陳猫を全頭審査し、各猫種毎に席次・ベストカラー・ベストブリードが選出されます。さらに各猫種のベストブリードから10頭の猫が選出され、ファイナル審査に進みます。
チャンピオンシップが2リング制であれば、2名の審査員がそれぞれ全頭審査し、ファイナル審査もそれぞれの審査員が選出した猫が進みます。

席次選出

各猫種、カラークラス、性別毎に上位3頭までが入賞になります

| リング A | リング B |
|-----------|-----------|
| 席次 1st | 席次 1st |
| 2nd | 2nd |
| 3rd | 3rd |

ベストカラー選出

各猫種のカラークラス毎に上位2頭が入賞になります

| リング A | リング B |
|---------------|---------------|
| ベストカラー 1st | ベストカラー 1st |
| 2nd | 2nd |

ベストブリード選出

各猫種から上位2頭が入賞になります

| リング A | リング B |
|----------------|----------------|
| ベストブリード 1st | ベストブリード 1st |
| 2nd | 2nd |

リング制

チャンピオンシップクラスは、複数リングで審査を行うことがあります。

2リング制の場合、2名の審査員がそれぞれチャンピオンシップクラスに出陳した猫を全頭審査し、ファイナルへの選出を行い、ファイナル審査も2回行われます。

出陳者の方は2回に分けて呼ばれますので、タイムスケジュールに従って審査を受けてください。

チャンピオンシップの席次

チャンピオンシップクラスでは、出陳猫は猫種・カラークラス・性別に加え月齢(成猫:12ヶ月以上・未成猫:8ヶ月~12ヶ月未満)毎に分かれて競います。

ファイナル審査

担当審査員が選出した10頭の猫からファイナル順位を決定します

リング A

| |
|--------------|
| ファイナル 1st |
| 2nd |
| 3rd |
| 4th |
| 5th |
| 6th |
| 7th |
| 8th |
| 9th |
| 10th |

リング B

| |
|--------------|
| ファイナル 1st |
| 2nd |
| 3rd |
| 4th |
| 5th |
| 6th |
| 7th |
| 8th |
| 9th |
| 10th |

リボンとロゼット

リボン

席次・ベストカラー・ベストブリードに入賞した猫にはリボンが贈られます

席次

各猫種、カラークラス、性別、月齢毎に上位3頭までにリボンが贈られます



ベストカラー

各猫種のカラークラス毎に上位2頭にリボンが贈られます



ベストブリード選出

各猫種毎に上位2頭にリボンが贈られます



ロゼット

チャンピオンシップ・プレミアシップ・ハウスホールドの各クラスのファイナルに選出されるとロゼットが贈られます。

チャンピオンシップ



プレミアシップ



ハウスホールド



JCC 公認猫種 体型別一覧

ボックスタイプ

ボックスタイプは、一般的な猫の体型であり、筋肉質で適度な厚みを持ち、引き締まった構造をしています。胴体はやや短めで、胸や腰はよく発達し、脚は中程度の長さで骨太、しっかりとした骨格が全体を支えます。極端な特徴はなく、全体に均整が取れた体型です。

- ・アメリカンショートヘア
- ・トニキーズ
- ・アメリカンワイアーヘア
- ・マンチカン
- ・スコティッシュフォールド
- ・ヨーロピアンバーミーズ

セミコビータイプ

セミコビータイプは丸みと厚みを備えた、ややすんぐりした体型です。胴体は短く幅があり、胸や腰は発達しています。脚は中くらいの長さでがっしりしており、全体に密度がありながらも動きやすさを保っています。コビータイプほど短く重くはなく、ややコンパクトで調和がとれています。

- ・ブリティッシュショートヘア / ロングヘア
- ・バーミーズ
- ・ボンベイ
- ・ミヌエット

コビータイプ

コビータイプは、大きく丸い頭部と短い背線、丸みのあるすんぐりとした胴体、太く短い脚が特徴です。胴体には厚みと幅があり、肩や胸はよく発達しています。脚は低く構え、全体に密度のあるしっかりとした骨格を持ちます。丸みと重厚感を強調した、コンパクトで安定感のある体型です。

- ・エキゾチック
- ・ペルシャ

バレルチェストタイプ

バレルチェストタイプは、丸くふくらんだ胸部と腹部を持ち、体の中心に厚みがある体型です。肩や腰は細く引き締まり、胴体の厚みに比べて軽やかな印象を与えます。腹部はやや膨らみをもって下がり気味になることもあります。丸みと軽さが共存する独特のバランスを見せます。

- ・スフィンクス
- ・デボンレックス

フォーリンタイプ

フォーリンタイプは、細くしなやかでエレガントな体型です。胴体・脚・尾は長めで、全体に流れるようなバランスを備えています。くさび型の頭部に大きな耳、アーモンド形または橢円形の目を持ち、繊細な骨格に適度な筋肉がついた軽やかで洗練された印象を与えます。

- ・アビシニアン
- ・ソマリ
- ・アメリカンカール
- ・ターキッシュアンゴラ
- ・エジプシャンマウ
- ・バーミラ
- ・コニッシュレックス
- ・ハバナブラウン
- ・ジャパニーズボブテイル
- ・ラ・パー馬
- ・スノーシュ
- ・ロシアンブルー

ロングボディタイプ

ロングボディタイプは、胴体が長く、引き締まった筋肉と滑らかなラインを備えた体型です。背は水平またはやや傾斜し、腰はしっかりと発達しています。脚は中程度からやや長めで、全体に流れるような輪郭と柔軟な動きを見せます。

- ・オシキャット
- ・トイガー
- ・メインクーンキャット
- ・シャルトリュー
- ・バーマン
- ・ターキッシュバン
- ・ベンガル

ラクタングルタイプ

ラクタングルタイプは、胴体が長く、幅が均等で直線的なラインを持つ体型です。肩と腰の幅がほぼ同じで、全体として横から見ると長方形の輪郭を形成します。骨格はしっかりとしており、厚みと重みを感じさせます。

- ・ノルウェージャンフォレストキャット
- ・アメリカンボブテイル
- ・ラガマフィン
- ・サイベリアン
- ・ラグドール
- ・セルカーフレックス

オリエンタルタイプ

オリエンタルタイプは、逆三角形の頭部と円筒形で細く長い胴体を持つ、シャープでエレガントな体型です。脚や尾も細長く、全体に繊細で流れるようなラインが際立ちます。額から鼻先にかけてのラインはまっすぐで、彫りの浅い顔立ちと大きな耳が調和しています。

- ・オリエンタルズ
- ・シャム
- ・バリニーズ

スクエアータイプ

スクエアータイプは、体高と体長がほぼ等しく、引き締まった筋肉と密度のある骨格を備えた、コンパクトで均整の取れた体型です。胴体は短めで、全体に四角くまとった印象を与えます。サイズは中～小型で、過度に華奢でも重厚でもなく、力強さと軽快さのバランスが取れています。

- ・コラット
- ・シンガプーラ
- ・マンクス